

橋本地区公民館 つれもていこら

橋本市市協
一丁目3番18号
橋本商工会館2F
TEL 34-2750
発行部数4,150部



館主催事業案内

申込み: TEL 0736-34-2750 へ

申込み開始日: 9月1日(火) 9:00~

館主催事業の内容を一部変更または中止、もしくは延期になる場合があります。

『ええとこ♥橋本』

『橋本のお寺と仏さま』

~仏像を知ると共に、地域の仏像を探る~

9月30日(水) 13:30~

私たちがお参りする、お寺にはどのような仏さまがおまつりされているのでしょうか。橋本市内には、貴重な仏像が多く存在します。今回、仏像についてのお話を聞くと共に地元の素晴らしさを再発見しましょう。

場 所: 橋本地区公民館 研修室

講 師: 大岡 康之 氏

定 員: 30名(先着順)

参加費: 無料

持ち物: 筆記用具 等



『銭坂城の姫と織田秀信』

銭坂城の姫「町野」^{まちの}の女性としての生き方、母としての生き方、そして、織田家の嫡男^{ちやくなん}(幼名:三法師)^{ほんろう}に生まれながらも時代の流れに翻弄された秀信に寄り添った生き方を、^{ひも}紐解いていきます。

10月6日(火) 13:30~

講 師: やまと語りベ やすき ひろこ 氏

場 所: 橋本地区公民館 研修室

定 員: 30名(先着順)

参加費: 無料



来年1月にこの内容の『語り芝居』を開催する予定です。
事前学習として、是非、お話を聞きに来て下さい。

乳幼児親子学級

★ 参加希望の方はお申込みください。初めての方大歓迎! ★

子育て中の皆さん、公民館で一緒に遊びませんか? 季節のイベントを交えて、みんなで楽しみましょう。

ベリィーベリィー

◇ 対象: 0~1歳前後・妊婦さん

&

合同企画

ぐー☆ちよき☆ぱぁー

◇ 対象: 1歳前後~就園前

『消防訓練&消防車見学』

9月9日(水) 10:00~

場 所: 山田地区公民館

(橋本市柏原 433-1)

※ 現地集合です



『敬老の日のプレゼント作り』

9月16日(水) 10:00~

場 所: 橋本地区公民館 研修室

持ち物: 子どもさんの写真(あれば)



☆ 参加希望の方は、橋本地区公民館（0736-34-2750）へお申込みください ☆

～大人のための体験教室～

ステンドグラスのアクセサリー作り

9月2日（水） 10:00～（若干名）

11:00～（若干名）

カットガラスを組み合わせてオリジナルデザインのペンダントを作ります。

講師：樫部 要蔵 氏
材料費：1,500 円（1 作品）
定 員：各 10 名



健康一番体操

- ① 楽しくて役に立つ「健康よもやま話」
- ② 健康な身体作りのための体操

9月29日（火）13:30～

講 師：岸田 昌章 氏・岸田 和美 氏
場 所：橋本地区公民館 研修室
定 員：25 名（先着順）
持ち物：お茶・タオル・ヨガマット
参加費：無料



熱中症に気をつけよう！

危険な暑さから退避できる場所として、公民館の開館時間（9:00～17:00）に、**ロビーや図書室などのオープンスペース**で暑さをしのいでいただくことができます。

※月曜日、祝日は休館日です。

※状況により利用できない場合があります。



午前閉館のお知らせ

9/25（金）橋本市民グラウンドゴルフ大会開催のため9:00～13:00の間、橋本地区公民館を閉館します。午後は開館しておりますので、ご利用いただけます。

※当日の問合せ先

中央公民館 ☎0736-32-0034



第4回紀の川流域4市町合同公開講座

地域をむすぶ葛城修験 ～桑原正明水彩画で巡る歴史と文化～

葛城修験の各所を訪れ、描かれた水彩画を通し、画家や研究者、地元で修験に携わる方がそれぞれの立場からみた修験についてトークセッションをします。

講 師：^{くわはらまさあき}桑原正明氏（水彩画家）、^{みやもとよしり}宮本佳典氏（郷土史研究者）、^{まとはやえこ}的場八重子氏（神野阿弥陀堂鍵預り）

日 時：令和8年12月5日（土） 13:30～15:00（開場13:00）

場 所：かつらぎ総合文化会館（かつらぎ町丁ノ町2454）

申込期間：令和8年9月1日（火）～10月30日（金）

申込方法：①郵送（往復はがき）

往復はがきに氏名と連絡先の電話番号、同行者氏名（最大3名）を記入して郵送して下さい。

②申込フォーム 入場無料（要申込）手話通訳あり



記入例	（往復面）	（返信面）
紀の川流域4市町合同公開講座 和歌山県紀の川市 西大井3-2-2 紀の川市教育委員会 生涯学習課 行 〒646-0292 0736-34-2750	※この面には何も書かないでください	申込者の ①氏名 ②連絡先電話番号 ③同行者の氏名 （最大3名） ④住所 ⑤氏名 ⑥郵便番号

9月は認知症月間

～認知症は誰にでも起こりうる身近なものです～

この機会に認知症について考えたり、家族や友人など身近な人と話し合ったりしてみませんか。

橋本市においても、認知症支援のシンボルカラーのオレンジ色で認知症への理解を広げる取り組みを進めています。活動にご協力いただけるボランティアの方も随時募集しています。

認知症に関するご相談は、地域包括支援センターへお気軽にご相談ください。

問い合わせ：橋本市いきいき健康課

（地域包括支援センター）☎ 0736-32-1957

橋本市の認知症支援に関する情報はこちら→



紀見北 愛犬しつけ教室

県の事業として殺処分ゼロ、終生飼育を目標に、年2回、春と秋に啓発活動を行っております。犬の飼い方、しつけ方を訪問指導させていただきますので、是非ご相談ください。

和歌山県動物愛護センター登録ボランティア
紀見北愛犬しつけ教室 清水智子
☎ 090-6207-1469





主催事業の様子



絵画教室

書道教室

夏休み子ども教室

マフィン作り

親子で作る
トピアリー

星と月と太陽



盆踊り講習会



健康一番体操



ベリィーベリィー

乳幼児親子学級

『プール遊び』

ぐー☆ちよき☆ぱあー



橋本地域共育コミュニティだより

《橋本小学校》



夏休みが明け、子どもの元気な声が学校に戻ってきました。

9月中旬からは10月3日(土)に予定している運動会練習が始まります。暑い中での練習となります。熱中症対策等万全な体制を整えて実施します。当日は地域の皆様方もぜひ小学校に足を運んで一緒に楽しんでください。

写真は夏休み中に実施した「第5回橋小夏に挑戦!!」の様子です。PTA企画委員及び共育コミュニティの皆様、そして学生ボランティアの皆様ありがとうございました。



「第5回橋小夏に挑戦!!」の様子

8・9月の主な行事予定

26	水	夏休み明け集会
31	月	(~9月1日) 夏休み作品展 委員会活動
3	木	歯科検診(3・4・5年生)
4	金	6年生紀伊風土記の丘出前授業 ブッキー号来校
7	月	クラブ活動
10	木	歯科検診(1・2・6年生)
14	月	運動会練習開始
15	火	縦割り班活動
17	木	校内研究授業(1年生)
24	木	選挙管理委員会
25	金	PTA保体部・本部役員合同会議
28	月	委員会活動
29	火	運動会予行練習

《橋本中央中学校》



夏季総合体育大会では、バスケットボール(女子)・ソフトテニス・剣道・水泳・柔道で、団体や個人での県大会出場を果たしました。近畿大会の一步手前まで勝ち進む競技もあり、県大会でも、最後まで諦めず全力で一生懸命に挑む姿、励まし合う姿、素敵なチームワークは、とても感動的でした。そして、本校の生徒2名が、水泳・バトミントンで近畿大会への出場を果たしました。また、吹奏楽部は、県吹奏楽コンクールに、本年度は「中学生A部門」で出場しました。お揃いの白いジャケットを身にまとい、和歌山城ホールで迫力あふれる素晴らしい演奏を披露してくれました。

夏の大会を終えた部活動では、新チームとなり、先輩たちの良き伝統を継承し、さらなる高みを目指して頑張っています。また、この夏も校区内各地で開催された行事に、本校生徒がボランティアとして積極的に協力・参加し、地域でも活躍しています。橋中生、いろいろなことにチャレンジして頑張っています。

9月の主な行事予定



2	水	授業参観(5限目) PTA臨時総会(6限目)
3	木	10日(木)・24日(木) 手縫いボランティアさん来校(2~4限目)
9	水	期末テスト発表
16	水	~18日(金) 期末テスト
26	土	~27日(日) 秋季新人大会
28	月	振替休業

展の会 春夏秋冬(九月号)

過去を愛でる

竹部美紀



5年ほど前から家の整理をしている。初めは、もったいない精神が先行して、なかなか捨てられなかったが、年々決断が早くなって家の中の空間が広がっている。

未だに手つかずの押入れが一つ残っている。中には壺、置物、花器、人形、額縁に入った絵や義父の書道作品などが詰め込まれている。

31年前、阪神淡路大震災が起きた年に、今の家に引っ越してきた。震災の甚大な被害情報をテレビで見たのをきっかけに、それまで棚に飾ったり、壁に掛けたりしていたものが危険だと感じ、この押入れにずっとしまい込んでいたのだ。

長年そのままにして忘れかけていたが、部屋に出してみると、懐かしくて思い出深いものばかり。一番奥に入っていた重いダンボール箱を開けると、石づくりの尉と姥(じょうとうば)の置物が出てきた。父の友人からの結婚祝いだったことを、ようやく思い出した。当時は一度見たきりで、箱から出したことはない。

今更ながら「尉と姥」を調べてみると、

「尉と姥」とは能の演目『高砂』に登場する老夫婦のことで、「長寿」や「夫婦和合」「縁結び」のめでたい象徴

とあって、70歳半ばのわたしには感慨深い思いである。

これからはゆっくりと選別して、残すものは季節ごとに一点一点ずつ飾ってもいいな、と思っている。